

# 北朝鮮による「人工衛星」と称する弾道ミサイルの発射事案について

平成28年2月7日(14:30 現在)

官邸対策室

※日時は特段の注記がない限り日本時間

## 1 事案概要

2月2日(火)

- 北朝鮮が関係国際機関に対し、「人工衛星」を打ち上げる予定である旨を通報。

### 【通報概要】

- (1) 予告日時 : 2月8日(月)から25日(木)  
午前7時30分～午後0時30分(日本時間)
- (2) 予告落下区域(平成24年12月の発射と類似したエリア)
  - ①朝鮮半島西方の黄海(第1段)
  - ②朝鮮半島南西の東シナ海(フェアリング)(※)
  - ③フィリピン東方の太平洋(第2段)

(※) 弾道ミサイル先端部の「外殻覆い」。

2月6日(土)

- 北朝鮮が関係国際機関に対し、「人工衛星」を打ち上げる予告日を、「2月8日から25日まで」から「2月7日から14日まで」に変更した旨を通報したことを確認。予告時間帯及び予告落下区域は変更なし。

2月7日(日)

- 北朝鮮西岸の東倉里(トンチャンリ)付近から南に向かって1発の弾道ミサイルが9時31分頃、発射されたことを確認。
- ミサイルは5つに分離し、1つは約500km飛翔し、9時37分頃、(①の予告落下区域内)に落下したものと推定。
- もう2つは約800km飛翔し、9時39分頃、(②の予告落下区域内)に落下したものと推定。
- もう1つは約2500km飛翔し、9時41分頃、沖縄県先島諸島上空を高度400kmで通過し、9時45分頃、本邦の南約2000kmの太平洋上(③の予告落下区域外)に落下したものと推定。
- もう1つは、9時39分頃、沖縄県先島諸島上空を高度500kmで通過し、南方向へ飛翔を継続。

## 2 政府の対応の概要（2月6日（土））まで

2月3日（水）

- 0時頃 総理指示（北朝鮮の通報を受けての指示）
1. 関係省庁間で協力し、情報の収集・分析に万全を期すこと
  2. 米国や韓国等関係諸国と連携し、北朝鮮が発射を行わないよう、強く自制を求めること
  3. 不測の事態にも備えるなど、国民の安全・安心の確保に万全を期すこと
- 7：55 北京にある北朝鮮の「大使館」ルートで外務省より抗議を実施
- 8：00頃 関係省庁局長級会議開催
- 8：30 危機管理センターに設置している「北朝鮮による核実験実施情報に関する官邸対策室」を「北朝鮮情勢に関する官邸対策室」に改称
- 12：10頃 国家安全保障会議開催
- 12：36 防衛大臣から部隊等に対して、弾道ミサイル等に対する破壊措置等の実施に関する命令を発出

2月6日（土）

- 17：30 関係省庁局長級会議開催（予告日の変更を受けての協議）  
（会議終了後 総理・官房長官に対応状況を報告）

## 3 政府の対応の概要（2月7日（日））

【9：31頃 北朝鮮から南の方向にミサイル発射】

- 9：31 防衛省からSEW情報を入手  
発射時刻9：31頃、発射場所北朝鮮西岸、発射方向南、発射数不明
- 9：33頃 防衛省からレーダによる情報を入手  
発射時刻9：31頃、発射場所北朝鮮西岸、発射方向南、発射数1
- 9：33 総理指示
1. 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
  2. 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
  3. 不測の事態に備え、万全の態勢をとること
- 9：34 ミサイルの発射情報をJアラートで送信（沖縄県）  
送信内容：発射情報。発射情報。先ほど、北朝鮮からミサイルが発射された模様です。続報が入り次第、お知らせします。
- 9：34 ミサイルの発射情報をエムネットで送信（全国）

送信内容：先程、北朝鮮からミサイルが沖縄県地方の方向に発射されました。続報が入り次第、お知らせします。

9：34 ミサイルの発射情報（詳細）をエムネットで送信（全国）

送信内容：発射時刻：9時31分頃、発射場所：北朝鮮西岸、  
発射方向：南 沖縄県地方、発射数：1

9：35 海上保安庁巡視船が沖縄・石垣周辺海域における安全確認を開始

9：37 海上保安庁が北朝鮮ミサイル発射に伴う航行警報発出

9：40 国土交通省が北朝鮮ミサイル発射に伴うノータム発出

9：41頃 防衛省から通過情報を入手、及び破壊措置の実施は無い旨確認

9：42 ミサイルの通過情報をJアラートで送信（沖縄県）

送信内容：通過情報。通過情報。先程、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。

9：42 ミサイルの通過情報をエムネットで送信（全国）

送信内容：先程北朝鮮から発射されたミサイルは、沖縄県地方上空を通過した模様です。続報が入り次第、お知らせします。

9：43 ミサイルの通過情報（詳細）をエムネットで送信（全国）

送信内容：9時41分頃、沖縄県地方から太平洋へ通過したと推定される。なお、破壊措置の実施は無し。

9：43 総理ぶら下がり会見

9：45 総理指示

1. ミサイルが通過したと判断される地域に重点を置き、落下物等による被害がないか、速やかに確認すること
2. 北朝鮮の今後の動向を含め、引き続き、情報収集・分析を徹底すること
3. 米国や韓国等、関係諸国と連携し、引き続き、緊張感を持って、必要な対応を適時適切に行うこと

9：47 緊急参集チーム協議

9：50 海上保安庁航空機が沖縄・石垣周辺海域における安全確認を開始

9：51 ミサイルの落下物情報をエムネットで送信（全国）

送信内容：落下物1、落下推定時刻9：37頃、落下推定地域（洋上）  
朝鮮半島の西約150kmの黄海

落下物2、落下推定時刻9：39頃、落下推定地域（洋上）  
朝鮮半島の南西約250kmの東シナ海

落下物3、落下推定時刻9：39頃、落下推定地域（洋上）  
朝鮮半島の南西約250kmの東シナ海

落下物4、落下推定時刻9：45頃、落下推定地域（洋上）  
本邦の南約2000kmの太平洋

9：51 官房長官会見

9：58 ミサイルの総括情報をエムネットで送信（全国）

送信内容：2月7日（日）、北朝鮮西岸から南に向かって計1発の飛翔体が9時31分頃、発射されたことを確認した。飛翔体は5つに分離し、1つは9時37分頃、朝鮮半島の西約150kmの黄海上（予告落下区域内）に落下したものと推定される。もう2つは、9時39分頃、朝鮮半島の南西約250kmの東シナ海上（予告落下区域内）に落下したものと推定される。もう1つは、9時41分頃、沖縄県上空を通過し、9時45分頃、本邦の南約2000kmの太平洋上（予告落下区域外）に落下したものと推定される。もう1つは、9時39分頃、沖縄県上空を通過し、南方向へ飛翔を継続した。破壊措置の実施はなし。

10：14 国家安全保障会議（四大臣会合）（10：26 終了）

10：18 海上保安庁が落下推定位置等に関する航行警報発出

11：26 官房長官会見（2回目）（官房長官声明発表）

13：00 拉致問題に関する四大臣会合

14：15 日韓防衛相電話会談を実施

※ 時刻については暫定的なものであり、変更があり得る。